

やましん歌壇掲載歌＜第11回＞

短歌	掲載短歌	平成26年3月～平成31年4月	令和1年5月～
		H28年3月：屋根を打つ微かなる音に心解く 雨水間近い目覚めの朝：井上管子選	R2年8月：山の路日の射す片方にハルジオン 蝶と戯れ我を誘う（＊）：佐藤幹夫選
		H28年3月：たまさかの妻の不在に慣れぬ家事 先行き危ぶむ思い湧きいず：大滝 保選	R2年8月：白マスク一枚加わる衣更え 初夏の風切り列なす自転車：井上管子選
		H28年4月：淡雪がうすく積もれる朝の道 足跡ひと筋わが先にあり：阿部京子選	R2年8月：風そよぎ甘き香流るる山路に ニセアカシアの大樹揺れおり（＊）：大滝 保選
	H28年4月：雪の道手を取り歩む老いふたり 交はす笑みにもにじむ年輪：井上管子選		
写真短歌（＊）	共同制作（＊＊） ＊…他人の写真に自身の短歌 ＊…写真も短歌も自身の作品		写真短歌  山の路 日の射す 片方に ハルジオン 蝶と戯れ 我を誘う 写真撮影地：山形市富神山 短歌：令和2年8月3日付け「やましん歌壇」掲載歌（佐藤幹夫選） 写真短歌  初夏の風 切り列な す自転車 白マスク 一枚加わ る衣更え 写真撮影地：新潟市 短歌：令和2年8月3日付け「やましん歌壇」掲載歌（大滝 保選）
作品	短歌	87首	101首（令和7年3月まで）
	写真短歌	38作品（自身の作品：37＋共同制作：1）	72作品（自身の作品：50＋共同制作：22）